



LET'S PLAY

Indiaca

Japan Indiaca Association (社)日本インディアカ協会

27
2004.5

社団法人 日本インディアカ協会

平成16年度事業計画

幼児期から高齢期まで生涯にわたって行うスポーツは、それぞれの年齢や体力、志向の推移、人の環境や立場などによって多様な行われ方を示す。幼少年期のスポーツは「遊戯性」が前面に現れるが、青年期には「闘争性」が強調され、成人期には「社交性」が、高齢期には「健康性」が求められるというように、スポーツのもつ本質的性格のいずれの側面に重点をおかれるかという推移がある。しかしだ大切なことは、何かひとつの側面のみが前面に出るのではなく、他の側面に留意した指導がどの対象にも必要である。

2004年の最も大きなかつ重要な事業として、「2nd Indiaca World Championships in Tukuba」が茨城県つくば市において、8月21日（土）～24日（火）まで国際協会加盟7カ国総勢350名が一堂に会し、開催される。この機会を活用して、マスコミをはじめ一般市民にインディアカの楽しさ、スポーツとしての奥行きの深さ、国際交流の意義のすばらしさをアピールし、インディアカ発展の節目にしたいと考える。（詳細別記）

【競技会の開催】

〔各種全国大会〕

- 『第7回 全日本シニアインディアカ大会
兼北海道・東北ブロックマスターズインディアカ大会』
・2004年6月20日（日）
北海道函館市「函館市民体育館」 64チーム（380名）
本大会は、北海道・東北ブロック協議会のご好意により、マスターズ大会と兼付きで開催する。
- 『第27回全国インディアカ大会』
・2004年9月19日（日）
鳥取県鳥取市「鳥取市民体育館」 72チーム（400名）
「第58回全国レクリエーション大会」の中で開催される。

今回は2006年スポレク祭を開催する鳥取県インディアカ協会が、総力を挙げて開催する初めての全国大会である。

●『第17回全国スポーツ・レクリエーション 祭インディアカ大会』

- ・2004年10月3日（日）～10月4日（月）
福井県大野市「大野市エキサイト広場総合体育施設」
48チーム（480名）

〔ブロック大会〕

- 『北海道・東北 ブロック インディアカ大会』
・2004年9月12日（日）
宮城県白石市「白石市文化体育活動センター」
- 『関東甲信越ブロックインディアカ大会』
・2004年6月27日（日）
神奈川県横須賀市「横須賀市総合体育館」
84チーム（500名）
- 『東海・北陸ブロックインディアカ大会』
・2004年9月5日（日）
愛知県豊橋市「豊橋市総合体育館」 84チーム（500名）
- 『関西ブロックインディアカ大会』
・2004年10月30日（日）
大阪府大阪市「大阪府立体育会館」 72チーム（400名）
- 『中・四国ブロックインディアカ大会』
・2004年5月23日（日）
高知県南国市「南国市スポーツセンター」
60チーム（250名）
- 『九州・沖縄ブロックインディアカ大会』
・2004年11月21日（日）
長崎県島原市「島原市復興アリーナ」
60チーム（350名）

【個人会員・普及審判員拡大キャンペーン】

(社)日本インディアカ協会、都道府県インディアカ協会の発展は個人会員並びに普及審判員の拡大にかかっていると言っても言い過ぎではない。

現在都市部に集中している会員、普及審判員が全国のバランスよく配置されるとが最も望ましいと考える。

今回のキャンペーンは、下記の期間とし、各都道府県協会は最低1～2回の「普及審判員認定講習会」を開催し、新規登録者を拡大し、普及審判員数の地域格差を少しでも埋めることに主眼を置く。

更に、2004年は、会員・公認審判員の有効期限延長による更新対象者が激減する年であり、このまま放置すると

3年後再びこの事態を招くことになる。これは、日本協会をはじめ各都道府県協会にとどまることではなく、本年は総力を挙げて「個人会員・普及審判員」の拡大を図らなければならない。

〈方法〉：都道府県協会に「普及審判員認定講習会の開き方」についての手引きを送付、開催を促す。

〈期間〉：2004年4月1日～11月15日

【指導審判員研修会】

指導審判員が3年に1回（資格有効期限が延長されたため更新義務としては3年に1回）最寄りの開催地に集合し、指導法・審判法・競技運営法・安全管理等の実践研究を行う。

またルールの共通理解や大会運営について学習する機会として開催している。

今年度は、2会場で開催する。

- 『東日本地区研修会』 未定
- 『西日本地区研修会』 未定

〔認定員研修会〕

- 『東日本地区研修会』 未定
- 『西日本地区研修会』 未定

【国際交流事業】

〈インディアカのアジア・ハワイへの普及〉

国際インディアカ協会は、ヨーロッパだけではなく、イ

ンディアカを世界中に広げて行く事を目的に掲げている。

中でもアジアに於けるインディアカの普及は、日本が推進しなければならない。

アジア各国の情報を収集し、交流する機会を見つけるとともに、在留しているアジア各国の学生、一般人との交流も計画していきたい。

また、多様なイベントを開催している団体・旅行社からの勧めもあり、日本との縁が最も深いハワイと2005年にスポーツの国際大会を計画している東南アジアのタイランドへの普及を考えていく。

・〔ハワイ研修旅行〕

ハワイ（主にオアフ島）在住の市民とのインディアカによる交流

〈期　日〉2005年1月14日（金）～19日（水）

4泊6日

〈参加費〉1名：130,000円前後

・〔タイランド研修旅行〕

タイランド（主にチェンマイ市）在住の市民とのインディアカによる交流とインディアカの普及

〈期　日〉2004年11月3日（木）～7日（月）

4泊5日

〈参加費〉1名：150,000円前後

全国大会報告

〔各種全国大会〕

1. 「'03 ジャパン フレンドシップ インディアカ リーグマッチ」（第10回）

・2003年7月21日（日）

・JR千駄ヶ谷駅前「東京体育館」

〈フレンドシップの部〉

・一般女子の部 32チーム、一般混合の部 24チーム、シニア女子の部 16チーム、シニア混合の部 16チーム 合計88チーム

〈オープン選手権の部〉

・男子の部 5チーム、女子の部 8チーム、混合の部 16チーム 合計29チーム

審判員は、東京都インディアカ、運営員などは、関東地区インディアカ協会の協力で開催している、最も大規模かつ内容の充実した全国レベルのインディアカ大会である。

1グループ11チームによる8グループの団体対抗戦で、グループは8色に色分けされており、当日配布されるTシャツのその色が示されている。

今回は、2004年8月に開催される「第2回インディアカワールドチャンピオンシップ」に出場する日本代表を決める部門を併設して行った。

結果、一般男子の部、一般女子の部、一般混合の部代表チームが決定した。

シニアの部の代表は、「第6回全日本シニアインディアカ大会で決定された。

2. 「第6回日本シニアインディアカ大会」

・2003年11月30日（日）

・愛媛県松山市「愛媛県立武道館」

・「第2回インディアカワールドチャンピオンシップ」の代表が決定した（シニア女子の部、シニア男子の部は、日本協会のすいせんで決定される。

3. 「第14回 オールジャパン レディース インディアカ大会」

・2003年9月29日（日）

・大阪府「大阪府立体育会館」

・28チーム

4. 「第16回全国スポーツ・レクリエーション祭」

・2003年11月2日（日）～11月3日（月）

・香川県香川町「香川町総合体育館」

・48チーム(480名)

5. 「第26回全国インディアカ大会」（第57回全国レクリエーション大会）

・2003年11月28日（日）

・広島県廿日市市「サンチェリー」

・60チーム

6. 「'03オールジャパンインディアカ大会」

・2003年1月26日（日）

・熊本県八代市「八代市総合体育館」

・56チーム

第1回 日・タイ友好インディアカ国際交流会報告

日・タイ友好インディアカ交流会がタイ国第2の都市チェンマイで1月、3月と2回行われた。

チェンマイ到着後市役所表敬訪問し、副市長はじめ市幹部の歓迎を受けインディアカの説明など行い和やかな内に終了した。

翌日、地元のクラブチームとの交流は屋外コートで行われた。このコートは土地を借り受け、インディアカコート、ターゲットバードゴルフコース、ベンチ、トイレなど整地から建築まで自分たちで造り上げたコートであった。

また、北部農村では、広場で村人と交流し、帰路学校に



立ち寄り講堂で中学生に説明しゲームを楽しんだ。

3月の市役所表敬訪問では副市長はじめ、4名の校長先生が参加され学校でも取り組みも考えているようです。今回の交流は、総合体育館（バドミントン6面の専用体育館）でクラブチームと体育館長はじめ体育関係者にバス、トス、ブロックなど基本練習を指導後、ゲームを楽しんだ。終了後インディアカのためにコートを開放することであった。今後タイ国でのインディアカ発展が期待される。

また、7月にはインディアカチェンマイ大会が行われる予定である。



さあ！個人会員になって

一緒にインディアカしませんか

インディアカをよりよく楽しむためには、(社)日本インディアカ協会の個人会員になることが近道です。

会員の登録方法は簡単です。

1. 住所 2. 氏名 3. 性別 4. 年齢 5. 生年月日 6. 電話番号を明記して、入会金1,000円と会費3,000円（3年分）を添えて居住地の都道府県インディアカ協会に申し込みます。登録終了後、会員証（プラスチックカード）がお手元に送付されます。

会員登録をしますと様々な特典があります。

- ①インディアカの練習や活動を可能にするインディアカクラブの紹介
- ②用具の割引購入
- ③各種インディアカ大会への優先的出場
- ④普及審判員・指導審判員など公認審判員の資格取得
- ⑤国際大会・国際交流事業への参加等
- ⑥機関紙「Let's Play Indiaca」配布



「第2回インディアカ世界選手権大会inつくば」を契機として、社団法人日本インディアカ協会のロゴマークが作成しました。

これまで、インディアカを製造しているドイツプレムシー社の登録商標を使っておりましたが、2004年4月からは、ここに表示しましたロゴを使うことになりました。

このロゴの実物は、カラーで出来ております。

県協会、市町村協会でお使いになる場合は、ご連絡下さい。

2nd Indiaca World Championships in Tsukuba

日本代表チームの紹介

〈男子の部〉

■ インパルス

今大会で、男子日本代表の栄誉にあざかりました。私達のホームグラウンドは千葉県です。北西部で、茨城／埼玉県／東京都と隣接しているものの、三方を海に囲まれた緑の大地です。

私達は大柄でないので、動きの速さと粘りのレシーブで世界へ挑戦します。

1 鈴木 聰	5 相本 靖将
2 西村 晃	6 野村 大典
3 斎藤 純一	(監督: 大口 達也)
4 田中 巧	



〈女子の部〉

■ アルファー

アルファを結成して10年。メンバーは現在9名、そのうち5名が大会に出場します。チーム構成はアタッカーとセッターが役割分担されていて、それぞれのスペシャリストをめざして励んでいます。固定して少しづつ結果を残しながら、充実したチームになってきたつもりですが、まだまだです。ただ、信頼関係とチームワークの良さは抜群で、それがアルファの強みになっていると思います。



国際ルールにどれだけ対応できるかわかりませんが、勝敗より世界の選手とPlayできる貴重な体験を精一杯、楽しんできたいです。

1 春秋 幸子	5 神山裕美子
2 斎藤 勝恵	6 長谷川知子
3 吉野 和枝	7 山口 葉子
4 小野沢有子	8 高田 奈緒

〈混合の部〉

■ プラスワン

私達プラスワンは、所沢市在住の男女9名で活動しています。週2回の練習と、週末には、埼玉県内にとどまらず全国各地の大会などに参加し交流を広めています。拾ってつなぐ粘りのプレー・クイック等を取り入れた幅のある攻撃—そして何といってもチームワークの良さがプラスワンのチームカラーです。2大会連続の国際大会への参加となります。対戦国の高さに負けない持ち前の粘りのインディアカで、前回の3位という成績を上まるよう精一杯頑張ります!!

1 佐藤 夏月	6 長谷川知子
2 佐藤 友希	7 山口 葉子
3 砂田 龍人	8 高田 奈緒
4 二宮 敏樹	9 二宮 邦子
5 太田 智成	



〈シニア男子の部〉

● WOODS INDIACA CLUB

ウッズ・インディアカ・クラブは、愛知県知多郡東浦町森岡地区に在住する人たちを中心に1988年に結成されました。クラブ名の由来は、森岡にちなんでウッズです。部員は30名を超えており、まさに老若男女の集まりですが、愛知県内のみならず県外の試合にも積極的に参加しています。今回は、このクラブメンバーを中心にして、世界選手権大会・男子シニアチームに出場です。出場メンバーの平均年齢は50歳を超えています。重力に逆らうことが徐々に難しくなり、ジャンプ力が低下し、アタックの威力はこんなはずではなかったと首をかしげつつ、精一杯頑張ります。どうぞ応援よろしくお願いします。

1 二宮 克美	6 堀金 雅一
2 村井 清	7 山下 輝彦
3 坂野 三次	8 松井 晶紀
4 金子 林司	9 横山 浩道
5 佐藤 熟	



〈シニア女子の部〉

● フレンドシップ

我がチームは、結成して18年目になります。会員は、20人位ですが、男性が4人で、ほとんどが女性です。それもシニア年令が大半の熟女で美人揃いのチームです。

毎週木曜日に近くの公民館で、夜の7:00~9:00まで練習しています。練習後のおしゃべりも含めて、メンバーの皆さん、ストレス解消と共に、体力維持、健康維持のために楽しく、時には厳しく練習に励んでいます。



今回は、エストニアで開かれた第1回のワールドチャンピオンシップに参加した時の仲間と一緒に参加させて頂きました。

本当にインディアカが大好きな仲間たちです。

1 小野寺幸子	7 押塙 悅子
2 長島 清子	8 久保奈津江
3 吉田千恵子	9 和田 和子
4 澤田久美子	10 田口三江子
5 竹田 照子	(監督:山谷 平造)
6 片倉 洋子	

〈シニア混合の部〉

● 島根アクアス

私達は島根県のチームです。浜田を中心に活動しています。4人は柏村印刷という同じ職場の仲間です。週3回練習しています。この前まで、若いつもりで頑張っていましたが、みんなシニアに出る様になってしまいました。

去年の全日本シニア大会で優勝しました。今回、世界大会に出られる事になりました。とてもうれしく思っています。この様なチャンスは二度とないと思いますので、みんなで、楽しく、悔いのない試合をしたいと思います。世界の壁は厚いかなー。ネットも高いし、コートも広いし、でも、50肩でも拾って拾って頑張ります。

1 吉山 荣喜	6 浜本 幸子
2 叶松 久男	7 迫本のり子
3 植田 博文	8 矢田部万寿江
4 三好 晴夫	9 御園美津江
5 御園 敏郎	



2nd Indiaca World Championships in Tsukuba

組織と参加国紹介

今年はオリンピックイヤーです。この夏はオリンピック発祥の地アテネにおいて「スポーツ・平和の祭典」が繰り広げられます。一方インディアカのオリンピック「第2回インディアカ世界選手権大会inつくば」がこの8月に茨城県のつくば市で開催されます。

大会は4日間の日程で、インディアカ発祥の国ドイツをはじめ、スイス、エストニア、ルクセンブルク、スロバキア、ブラジル、日本の国際インディアカ協会加盟7カ国が参加する予定で準備が進められています。

第1回大会は4年前の2001年にエストニアのタルトウ市で開催されたものですが、第2回大会が日本ということもあって、日本のインディアカ愛好者にとってはたいへん熱い夏になりそうです。みなさんのご支援と温かい応援によって、大いに「つくば大会」を盛り上げて頂きますようお願い致します。

Organization Committee Member 第2回インディアカ世界選手権大会組織委員会

名誉会長 藤沢順一（つくば市長）
会長 吉田正志（日本インディアカ協会会长）
副会長 加藤浩一（茨城県インディアカ協会会长）
副会長 藤井伸二（つくば市教育委員会教育長）
委員 杉浦 浩（つくば市教育委員会事務局次長）
委員 宇木博明（つくば市教育委員会スポーツ振興課課長）
委員 南 文男（〃 課長補佐）
委員 押塙登貴夫（日本インディアカ協会常務理事）
委員 小森谷大式（〃 理事）
委員 高石邦男（〃 専門委員）
委員 宮城重男（〃 専門委員）
委員 渡辺隆文（茨城県インディアカ協会理事長）
委員 田上次男（〃 副理事長）
委員 飛田一浩（〃 事務局長）

第2回世界選手権大会

組織委員会
(実行委員会)

大会事務局

広報・企画委員会

競技運営委員会

輸送・宿泊委員会

組織図

第2回インディアカ世界選手権大会inつくば 男子、女子、男女混合&シニア40歳以上

◆主 催 国際インディアカ協会
(International Indiaca Association)
社団法人 日本インディアカ協会
(Japan Indiaca Association)

茨城県つくば市

(Tsukuba City Ibaraki Prefecture Japan)

◆期 日 2004年8月21日(土)～24日(火)

◆会 場 「つくばカピオ」(Tsukuba Capio)
茨城県つくば市竹園1-10-1

(1-10-1 Takezono Tsukuba Ibaraki)

◆参加者 國際協会加盟7カ国（ドイツ、スイス、ブラジル、エストニア、ルクセンブルク、スロバキア、日本）で、各部門1チームとする。

PROGRAM

2004年8月21日(土)～24日(火)

8月21日(土)

・開会式(Opening Ceremony)および「交歓会」(ホール)

8月22日(日)

・(Aコート)シニア男子予選、準決勝、3位決定戦
・(Bコート)シニア女子予選、準決勝、3位決定戦
・(Cコート)混合予選、準決勝、3位決定戦

(アリーナ)

8月23日(月)

・(Aコート)シニア混合予選、準決勝、3位決定戦
・(Bコート)女子予選、準決勝、3位決定戦
・(Cコート)男子予選、準決勝、3位決定戦

(アリーナ)

8月24日(火)

・シニア男子決勝戦
・シニア女子決勝戦
・シニア混合決勝戦
・男子決勝戦
・女子決勝戦
・混合決勝戦
・表彰、閉会式(Closing Ceremony) (アリーナ)

<観戦チケット>

22日(日)～24日(火) 3日間通し券 1,000円

(1日券 500円)

<参加国紹介>

◎ドイツ連邦共和国 (Federal Republic of Germany)

1. 人口 8,254万人(2003年)、人口密度約230人/km²
2. 面積 35.7万km²(日本の約94%)
3. 首都 ベルリン(約340万人)
4. 人種 ゲルマン系を主体とするドイツ民族

(在留外国人数約730万人)

面積は35万7000平方kmで日本より若干小さい。南北の距離は876km、東西は640km。北はバルト海と北海に面し、南端にはアルプスが連なる。オランダ、ベルギー、ルクセンブルク、フランス、スイス、オーストリア、チェコ、ポーランド、デンマークの9カ国と見える国境に囲まれ、すべての点でドイツは欧州の交差点である。

インディアカ発祥の地であり、愛好者は日本について2番目に多い。体格・体力に恵まれ技術的にも高い水準にあ

り、世界のナンバー1である。

◎スイス連邦 (Swiss Confederation)

1. 面積 4.1万km² (九州よりやや小さい)
2. 人口 720万人
3. 首都 ベルン (人口約12.8万人)
4. 人種 主としてゲルマン民族 (外国人約144万人)
5. 言語 独語 (63.7%)、仏語 (19.2%)、伊語 (7.6%)、ロマンシュ語 (0.6%)、その他 (8.9%)

九州とほぼ同じくらいの面積に高低差が4,441mもある地形はバリエーション豊かな美しい風景をつくりだしています。ヨーロッパの屋根といわれるアルプス山脈とジュラ山脈が国土の約70%を占めており、迫力ある名峰の数々や雄大に広がる氷河、のどかな牧草地などはスイスを代表する風景。

国語が4つあるスイスでは国の名前をドイツ語でSchweiz(シュヴァイツ)、フランス語でSuisse(スイス)、イタリア語で Svizzera(シュヴィツェーラ)、ロマンシュ語で Svizra(シュヴィズラ)と呼びますが、どこか一つの言語を採用することはできないので、正式名称はラテン語でConfoederatio Helvetica(コンフェデラチオ・ヘルヴェティカ)としています。このラテン語表記の略称であるCHは自動車のナンバープレートや通貨の単位、切手など国名の標識としてよく見かけます。

◎エストニア共和国 (Republic of Estonia)

1. 面積 4.5万km² (日本の約9分の1)
2. 人口 143.9万人
3. 首都 タリン (約43万人)
4. 言語 エストニア語

エストニアはヨーロッパ北東部にある共和国。かつてはエストニア・ソビエト社会主义共和国として、旧ソ連邦の構成共和国だったが、1991年に独立。

北はフィンランド湾、西はバルト海とリガ湾にのぞみ、東はロシア、南はラトビアと国境を接する。沿岸にはサレマ島とヒーウマー島をはじめとして、1500以上の島がある。ラトビア、リトアニアとともにバルト三国とよばれる。首都はタリンで、同国最大の都市であり、バルト海屈指の港である。

またエストニアの島々は旧ソビエト時代の軍事的要衝であったため、手つかずの自然が残っている。

デンマーク・スウェーデン・ロシアに何世紀にも渡り支配され続けた国エストニア。

独立9年目を迎えた新しい国と文化を大胆に模索している。

◎ルクセンブルク大公国 (Grand Duchy of Luxembourg)

1. 面積 2,586km²
2. 人口 41万2,800人
3. 首都 ルクセンブルク
4. 人種 ゲルマン系
5. 言語 ルクセンブルク語、フランス語、ドイツ語

ルクセンブルクは大公国であり、政治形態は立憲君主制を採用しています。独立した国家で、ベルギー・フランス・ドイツの3国に囲まれており、千年以上の歴史を持つ、ヨーロッパの中央部に位置する。

緑の森と深い峡谷に囲まれた美しい小国。首都ルクセンブルク市は現在、EC諸機関が置かれている国際都市だが、昔から北のジブラルタルという異名をもつ城塞都市。

「小さな城」という意味のルクセンブルク。戦争のための城壁も、平和な現在では観光名所。地下には迷路のような要塞が。

◎スロバキア共和国 (Slovak Republic)

1. 面積 49,035km² (日本の約7分の1)
2. 人口 541.0万人 (2001年)
3. 首都 ブラチスラヴァ
4. 人種 スロバキア人85.6%、ハンガリー人10.5%
5. 言語 スロバキア語

国の中部、北部にはカルパチア山脈に続くタトラ山脈が、ドナウ川沿いの南部には平原が広がる。

紀元前はケルト人、紀元後はローマ帝国、スラブ諸族、大モハビラ帝国、神聖ローマ帝国など領土となる。トルコの遠征(1526年モハッチの戦い)後は、現在のスロバキアの首都ブラチスラバがハンガリー帝国の首都となる。

ハプスブルク家崩壊後、チェコとの連邦国家を経て、1993年スロバキア共和国として独立、人口は536万人、チェコから独立後は農業を中心とした国家となる。

◎ブラジル連邦共和国 (Federative Republic of Brazil)

1. 面積 851.2万km² (日本の22.5倍)
2. 人口 1億7,600万人 (2002年地理統計院)
3. 首都 ブラジリア
4. 人種 欧州系 (55%)、混血 (38%)、その他 (アフリカ系東洋系等)
5. 言語 ポルトガル語

ブラジルはサッカー、カーニバル、そしてアマゾンで有名な国です。ブラジルは世界で5番目に広い国です。ブラジルより広い国はロシア連邦、カナダ、アメリカ、そして中国だけなのです。

ブラジル国民は、世界のさまざまな場所からやってきた人々の子孫です。何千年、何百年も前にブラジルの地に移り住んだ人々の子孫もいれば、20世紀になってこの国へやってきた人たちの子孫もいます。彼らは今、一つの国家に生きています。

インディアカのルーツであるペテカはブラジルのスポーツであり、現在はインディアカとは違った形で盛んに行われています。



インディアカ及び関連商品10%割引、送料・送金手数料無料!

JIA会員専用 注文用紙

*ご注文は必ずこの注文用紙（コピー可）をお使いください。
日本レク協会 サービスセンター行き

ふりがな	JIA
お名前	会員番号

ご住所

(電話番号)

以下の商品を注文します。（請求金額は下記定価の10%引きとなります。消費税は別途いただきます。）

商品名	税込定価	注文数	商品名	税込定価	注文数
インディアカデラックス	2,520		フェザープロテクター・A(大70・小30・接着剤付)	998	
スペア羽根	840		フェザープロテクター・B(大100・接着剤付)	998	
インディアカ競技規則(新)	735		ラインテープ(40mm巾・白・60m×2巻)	2,520	
インディアカ教本(新)	1,575		ネットA(エース)(幅90cm・長さ610cm)	7,665	

◎その他ご注文

連絡事項

◆インディアカ、スペア羽根、及びインディアカ関連商品につきましては、正規価格の10%割引となります。

◆ご注文の数量にかかわらず送料無料です。

※ただし、スペア羽根のみの注文の場合、2本以上として下さるようお願いします。また、フェザープロテクター単品のみのご注文の場合は送料140円ご負担くださいますようご了承ください。

◆送金手数料が無料です。

※商品が届いた際に、請求書と共に同封されている郵便為替用紙を使用すれば送金手数料がかかりません。

※また、コンビニエンスストアでの送金も可能となりました。(手数料無料)

◆この方法で注文すると…

※都道府県インディアカ協会の普及活動費の一部が助成されます。

お申し込みお問い合わせは

(財)日本レクリエーション協会 サービスセンターまで

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-20-7 水道橋西口会館内

TEL 03-3265-1335 ◉営業時間 月～金

FAX 0120-0874-09 9:30~17:30(土日祭休)
オハナシ レク

【お願い】

◎上の注文用紙を使用してFAXか郵便でご注文下さい。この用紙が使用されていないものに関しては、従来どおりの扱いとなりますのでご注意下さい。なお、この用紙をコピーしてもかまいません。

◎商品はすべてドイツから直輸入され、常時在庫はありますが、使用日時には余裕をもって発注してくださいますようお願いいたします。

◎FAXは通信料無料のフリーダイヤルで送信してください。0120-0874-09です。またカタログの請求なども無料です。どうぞご利用ください。

◎なお、この割引制度は請求書のあて名が御本人または御本人が所属するクラブ名に限らせていただきます。(名義貸しはできません)